

# NsとMSWの協働による受診・治療継続が困難な患者への支援の取り組み

HIV 感染症患者の長期療養を支えるため、全国のエイズ治療拠点病院は地域連携を推進しています。エイズ予防指針にも HIV 診療チームの看護師、医療ソーシャルワーカーには、地域や関係機関との連携力が求められており、このような経緯からNsとMSWの協働シンポジウムは企画されました。

協働の実践から見てきたのは、**継続的な治療や内服が必要にもかかわらず、受診・治療継続が困難となった患者への支援の困難さと工夫**です。第4回は、受診・治療継続が困難となった事例をもとに患者の病状や生活の課題に応じた地域との連携の取り組みについて、両職種から報告いただきますので、奮ってご参加ください。

日時：令和6年 **11月13日** **水** 18:00~19:10

方法：ZOOMによるオンライン  
事前申し込み(先着200名)

<https://forms.gle/Txvp3ZWEZvpQ31DU7>

締切：11月4日 正午 あるいは QRコードから ▶



\* 個人情報は運営管理の目的以外に使用しません。

対象：HIV 診療に携わる  
看護職と医療ソーシャルワーカー

## プログラム

- 進行** **三嶋 一輝** 医療ソーシャルワーカー (福井大学医学部附属病院)  
**木下 佑子** HIVコーディネーターナース (福井大学医学部附属病院)
- 開会挨拶** **潟永 博之** 「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究」班 研究代表者  
ACC センター長 (国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

## シンポジウム

多重課題をかかえた患者に対するNsとMSWの支援アプローチを振り返る  
事例提供者

- 高木 雅敏** HIVコーディネーターナース (熊本大学病院)  
**吉田 識未** 医療ソーシャルワーカー (熊本大学病院)

## 総合討論

### 情報提供

先天性血液凝固因子障害等治療研究事業について

- 高橋 昌也** 医療社会事業専門員  
(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

### 閉会挨拶

- 大金 美和** 患者支援調整職  
(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業  
HIV感染症の医療体制整備に関する研究  
研究分担者：三嶋一輝「Nsとの協働による要介護・要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

研究分担者：大金美和「ブロック内中核拠点病院間における相互交流によるHIV診療環境の相互評価とMSWと協働による要介護・要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

後援 公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会

## 問い合わせ先

福井大学医学部附属病院 地域医療連携部 三嶋 一輝  
TEL 0776-61-8645 (平日 9:00 - 17:00) ※当日 TEL 080-2966-7362